

一般社団法人日本看護系大学協議会  
社員(=会員校代表者)各位

文部科学省委託事業「学士課程における看護学実習の充実のための調査研究」  
事業2責任者 JANPU 委員 西村礼子  
事業運営責任者 JANPU 常任理事 鎌倉やよい  
一般社団法人日本看護系大学協議会(JANPU)

## OSCE 及び参加型臨地実習に関する専門家候補者の推薦のお願い(ご依頼)

平素より一般社団法人日本看護系大学協議会(以下、JANPU)の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

JANPU では、文部科学省委託事業「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究『学士課程における看護学教育の質向上に向けた調査研究』テーマ A:学士課程における看護学実習の充実のための調査研究」の一環として、事業 2「資質・能力の到達度に基づく臨地実習前後の CBT/OSCE を活用したコンピテンシー評価」を実施しております。

令和7年度は看護学教育モデル・コア・カリキュラム(令和6年度改訂版)に基づく資質・能力の到達度評価として、OSCEの全国調査を実施し、「OSCEの実施状況、OSCEガイドブック作成に必要と考える内容等」を収集し、看護学教育モデル・コア・カリキュラム(令和6年度改訂版)に基づく資質・能力から「参加型臨地実習前に、看護学士課程で、全国共通 OSCE で最低限保証する評価項目」及び「参加型臨地実習時点で、臨地実習で実践の機会が最低限実践の機会が保証される評価項目」を明らかにしました。調査へのご協力、ありがとうございました。

令和8年度は、「看護学教育モデル・コア・カリキュラムの資質・能力の到達度に基づく評価 - OSCEでのコンピテンシー評価項目と評価課題、参加型臨地実習でのコンピテンシー評価項目と実習領域の特定 - 」をテーマとして、デルファイ法により専門家のご意見を伺う計画としております。

つきましては、貴学において OSCE 及び参加型臨地実習に関する専門的知見を有する看護系教員または臨時実習指導者、それぞれ該当者1名(合計3名まで)をご推薦いただきたく、ご連絡申し上げます。

【ご推薦いただきたい候補者の例:下記のどれかを満たす方】 推薦期限:2026年5月22日(金)まで

<OSCEの場合>

- ・ OSCEの企画、運営、評価に関与している看護系教員
- ・ OSCEに関する教育実践または研究実績を有する看護系教員
- ・ OSCEを活用したコンピテンシー評価に関して専門的知見を有する看護系教員

<参加型臨地実習の場合>

- ・ 臨地実習に関する原著論文または解説論文について、国内のデータを用いて報告している看護系教員および臨地実習指導者
- ・ 臨地実習に関する専門的知見を有した看護系教員および臨地実習指導者

【ご教示いただきたい事項】

ご推薦していただける先生の下記の情報について、URLまたはQRコードからご入力をお願いします。

1. ご所属
2. 氏名
3. 職位・役職
4. メールアドレス
5. ご推薦理由(簡潔で結構です)
6. OSCEの情報について公表している貴学のホームページ等のURLや執筆物のタイトル(必須)  
臨地実習に関するこれまでの実施を示すURLや執筆物のタイトル(任意)



URL:<https://forms.gle/sBZ1fB4CbBw5GWFB8>

### 【ご留意事項】

ご推薦いただくことは研究参加を確約・強制するものではありません。ご推薦後、事業担当者内で選定し、候補者ご本人へ研究の趣旨、方法、倫理的配慮等をご説明し、自由意思に基づいて参加可否をご判断いただきます。

調査は第3ラウンドまで実施し、Google FormsによるWeb回答とZoomを用いたインタビューを予定しております。第3ラウンドまでご参加いただいた方には、謝礼として1万円をお支払いする予定です。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本研究の趣旨をご理解のうえ、ご協力賜れますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

### 【調査研究内容】

本調査研究に関する詳細な内容は、下記参考資料①②およびJANPUホームページをご参照ください。ご推薦後、ご推薦者に調査研究対象者として調査をお願いすることになった場合には、改めて参考資料を送付させていただきます。

- 参考資料①「看護学教育モデル・コア・カリキュラムの資質・能力の到達度に基づく評価-OSCEでのコンピテンシー評価項目と評価課題、参加型臨地実習でのコンピテンシー」評価項目と実習領域の特定-」のご協力をお願い(OSCE)
- 参考資料②「看護学教育モデル・コア・カリキュラムの資質・能力の到達度に基づく評価-OSCEでのコンピテンシー評価項目と評価課題、参加型臨地実習でのコンピテンシー」評価項目と実習領域の特定-」のご協力をお願い(臨地実習)

本調査は北海道科学大学 研究倫理審査委員会にて、多機関共同研究として承認【承認番号:第 815 号】を得て実施しております。

### 【本事業の実施体制】

事業運営責任者:鎌倉やよい(日本看護系大学協議会・常任理事)

事業2責任者:西村礼子(看護実践能力評価基準検討委員会副委員長・看護学教育質向上委員会委員)

事業2副責任者:野島敬祐(看護実践能力評価基準検討委員会委員・看護学教育質向上委員会委員)

事業2メンバー:石川幸司、佐藤美紀子、前田耕助、神澤尚利(看護実践能力評価基準検討委員会委員)  
落合亮太、川原千香子、松田光信、中村博文(看護学教育質向上委員会委員)

ご不明な点がございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

#### 【本事業に関する問い合わせ先】

一般社団法人日本看護系大学協議会 事務局

電話:03-6206-9451(連絡対応時間: 9:30-16:30)

E-mail: [office@janpu.or.jp](mailto:office@janpu.or.jp)

#### 【本調査研究に関する問い合わせ先】

北海道科学大学 保健医療学部看護学科 教授 石川幸司

E-mail: [ishikawa-k@hus.ac.jp](mailto:ishikawa-k@hus.ac.jp)